

# 光と虫

伊地知克介

2020年夏。

海外から帰国した人が隔離のために2週間滞在しているホテルのバルコニーが舞台。海と山に挟まれた星空のきれいな場所にはあるが、周りに何もないホテルで、宿泊者は退屈している。宿泊した時には全員、症状がない。一方で、全員が不安を抱えている。

医療関係者激励のための花火大会が開かれたことなどをきっかけに、3組の宿泊客がバルコニーで会話を始める。距離をとって、お互い、向かい合わないかたちの会話だ。

3組は

貿易会社社員の男性と日本文学研究の留学生の女性

イベント会社の男性社長と、美容整形外科の男性医師

劇団を主宰している俳優（女性）と、図書館勤務の女性司書

それぞれが「現在」へのさまざまな思いを持っている。

やがて、山間にホテルが飛び交う夜が訪れる。宿泊客らはそれを見て、さまざまな「光」について思いを口にする。

3組が、言葉を交わす3夜を劇として構成する。

2020年6月。海外から帰国した人が隔離のために2週間滞在しているホテルのバルコニー。ホテルは郊外にあり、バルコニーは山間を流れる清流に面している。逆の側は海を見下ろせる位置にある。それぞれの登場人物は隣の部屋の宿泊客とバルコニーで距離を取って話す。

205号室と206号室

ジュア 留学生の女性

陽（あきら） 貿易会社の男性社員

210号室と211号室

月世 劇団主宰者の俳優

光恵 図書館勤務の司書

119号室と120号室

天道 イベント会社経営の男性

星 医師の男性

宇宙飛行士1

宇宙飛行士2

（インターミッションに無言で登場する）

それぞれ2人芝居が3組、3場面ずつあり、計9場面からなる。間に2つのインターミッションをはさむ。

三組の部屋はほぼ三角形に配置されているが、舞台上でその位置関係が表現される必要はない。

205号室と206号室の1

花火の音。ジュア、登場。空を見る。不安げな様子。陽、登場して、やはり空を見上げる。

陽 ジュア やっぱりこっち側の部屋からは見えませんね。

陽 ジュア え？

陽 ジュア 花火ですよ。

陽 ジュア この音は花火で間違いありませんね。

陽 ジュア そうなんです。でも全然見えない。医療関係者、ドクターたちを励ますための花火だっていうんですよ。海辺でやってるんでしょうね。山側には、医療関係者いないのかな。残念だな。

ジュア

このペーパー、ホテルのスタッフから渡されました。花火の音が聞こえるけど、見えません。書いてあります。その通りですね、その下のところに書いてあること、教えていただければうれしいです。私、ちよつと意味、わからなくて。

陽

ああ、それですか。私も受け取りました。すみません。マスクを外して話すなら、お互い、あつちを向いて話しましょうか。

陽 ジュア

おい、ごめんなさい。大丈夫とは思いますが、念のためです。(2人、正面を向く)

ジュア

このペーパー、虫の絵が描いてあるけど、文章の意味がうまく取れなくて。どういう意味なのですか。

陽 ジュア

ホタルが見られるかもしれないんですよ。ホタル？  
ええ、ホタル。コウチュウ目、ホタル科。このあたりだとゲンジボタルだと思います。夜、光る虫です。

ジュア

はい。知っています。でもなぜホタルが光っていることを人に話したり、ツイッターに書いたりしてはいけない、と書かれているのですか。

陽

日本人はホタルが好きなんです。たくさん光っている、と聞くと集まってきてしまう。密になるといけないですよ。

ジュア

密？

陽

ジュア

人が集まりすぎると、感染の心配がありますよね。そういうことですか。

陽

それに、あまり人が来ると、ホタルはデリケートな虫なので、来なくなってしまうこともあります。だから静かに、ここから見るだけにしてください。

ジュア

おい、日本人は虫に優しいのですね。

陽

ホタルでも見られないとね。ここは楽しみがないから。あなたも「カクリ」ですか。

ジュア

このホテル、「カクリ」じゃない人は泊まっていないはずですよ。1階も2階も海外から帰ってきた人か、来日したばかりの人か。どちらかの2週間の滞在場所になっています。

陽

私は来日して「カクリ」です。

ジュア

僕は帰国してきて「カクリ」です。でもみんな同じ。外に出られない。外に出られるのは症状が出て、病院に運ばれる時くらいですね。それは考えたくありませんが。

陽

そうですね。みんな空港からここに来たみたいですね。クルーズ船に乗った人はいないから、それほど危なくないと思うけど、でも航空機も感染リスク高いっていうし、なんか、嫌ですね。

ジュア

そう思います。

陽

あなたはどのくらい、ここに滞在ですか。

陽

私はあと9日間。外に出られないってつらいですね。このホテル、海側と山側の部屋があるでしょう。

陽 ジュア

こちらは山側ですね。きょうの花火、海側の宿泊客は見て楽しめるのに、こちら側は音を聞くだけでしよう。不公平だ、平等ではないって声が出るみたいです。ほら、みんな少しイライラしていますからね。

ジュア

世界には不公平なこととはたくさんあります。でも、日本のみなさんは平等であることにとても意識が高いのですね。いいことです。

陽

ホタルが見られれば、こちら側の人たちの気持ちも少しはやわらぐかな。あ、お国ではホタルの光を楽しむ習慣はないでしょうね：

ジュア

たしかに私の国ではそれはありません。でも日本人が光る虫を楽しむというのは知っていますよ。「源氏物語」にその場面がありました。

陽

「源氏物語」に！そうなんですか。あとジュンイチロウ・タニザキの小説にも。とても面白い習慣だと思いましたね。そう、たしか「ホタルガリ」というのですね。

ジュア

日本人より日本に詳しいんですね。日本文学を研究していて、東京に留学するのが長いこと夢でした。やっと実現したんです。でも大学では人が集まってる授業はしばらくはないようですが、

陽

そうなんです。気の毒ですが。授業、オンラインだからアメリカにいても受けられるよって、同じだよって、みんな言うんですけど、せっかく留学が決まったのに、

ジュア

と思いましたが。だから、思い切って来たんです。日本の習慣とか文化を経験しながら教室で授業を受けられるのを待とうと思います。ホタルガリができるのなら、うれしいです。

陽

日本人がみんなホタルを楽しむわけじゃないですよ。源氏物語の時代と違って、いま、ホタルあんまりいないんです。見たことのない人も多いいんじゃないかな。

陽

日本人がみんなホタルを楽しむわけじゃないですよ。源氏物語の時代と違って、いま、ホタルあんまりいないんです。見たことのない人も多いいんじゃないかな。

花火の音

陽

花火の方が、いまの日本人にはなじみのある夏の楽しみですね。

ジュア

あなたは日本人ですね。なぜこの時期に海外に出ましたか。

陽

仕事です。貿易をする会社で働いていて、どうしてもメールや電話ではできない交渉ごとがあるんですよ。虫に詳しいので、学校の先生とか、科学者とか、そういう人ではないか、と思いました。

陽

博物館は私たちの会社の取引先の一つなんです。植物標本とか、化石標本とか、昆虫標本の輸入も仕事なんです。おー、私も早く日本の博物館を見たいです。

陽

まずここから出ないとね。でもここに滞在したおかげで、私はホタルを見られます。

ジュア

花火の音

陽

ああ。花火見たいなあ。陽、バルコニーの端に行って、跳ねて見ようとする。

ジュア

そりゃあかんわ。え？

陽

見えないでしょう。いや、その言葉が。ああ。私の先生、生徒がよくない発音をすると、いつも言っていました。そりゃあかんわ、ローカルな言葉なのですよね。

陽

大阪の人に日本語習ったんですね。大阪ではなかったですよ。彼女の出身地、ええと、キシワダ、でしたね。

ジュア

陽 ジュア 同じです。大阪の中の、一つのまちです。おー、ニューヨークの中のマンハッタン、みたいなものですか。

陽 ジュア なんか違う気がするなあ（もう1度飛ぶ）

陽 ジュア 見えないなあ。

陽 ジュア バリリイデーエ。

陽 ジュア なんです。

陽 ジュア 私の生まれた国の言葉を思い出しました。

陽 ジュア あなたはアメリカ人だと思っていました。

陽 ジュア アメリカ人になったのは18歳の時です。生まれたのは違う国でした。

陽 ジュア バリリイデーエというのは？

陽 ジュア バリリイデーエは見る人。イーデーエは夢とか幻のことです。バリリイデーエは「見えないものを見る者」という意味です。

陽 ジュア 見えないものを見る者。

陽 ジュア ええ。「居眠りをする人」という意味もあるんです。子どもの頃、学校で居眠りする子がいると、先生が机をこ

陽 ジュア うする（コン、コンと手元の手すりをたたく）。子どもがびっくりして目を覚まします。するとクラスみんな

陽 ジュア が一斉に「バリリイデーエ」って。

陽 ジュア そうなんだ。

陽 ジュア 起きた子どもは悲しい顔をします。すると、先生が「バリリイデーエ・サン・バリリカルラ」って。

陽 ジュア 「バリリイデーエ・サン・バリリカルラ」どういう意味ですか。

陽 ジュア ことわざですね。こういう意味です。「見えないものを見る者は、時に、最初に見る者になる」。

陽 ジュア 最初に見る者。

陽 ジュア 必ずしも悪いことではないってことです。

陽

ジュア

陽

ジュア

陽

ジュア

陽

ジュア

陽

ジュア

陽

ジュア

陽

ジュア

（もう一度跳ねて）花火については、僕はバリリカルラにはなれないみたいです。それは残念ですね。

お国では花火を楽しむ習慣はありますか。

アメリカ人は、とてもよく花火を楽しみますよ。

あなたの生まれた国ではどうですか？

（間）ジュア

え？

私の名前です。

僕はアキラ、といいます。日本ではよくある名前です。

私の生まれた国では、火薬を別のことに使います。

え？

こういう火薬の使い方、音と光を楽しめる国に、早くなればいいと、私は思います。

花火の音

陽 ジュア

内戦ですか。

長く続いているのです。私の生まれた国では子どもや

女性はリスクが高すぎて外に出られない。今の私たちと

同じです。そういう国は少なくないんです。でも私はヨ

ーロッパに逃れ、そしてアメリカに逃れることができま

した。そして、あと10日間たてば、十分ではないけど、

夢見た国で、学ぶ日々が始まります。輝く橋に足を置いて

いるのです。そのことを幸せに感じています。

それは良かったですね。

でもそれは私だけ。多くの人がまだ、火薬の立てる音に

おびえて、家の中にいます。あなただけが幸せでいいの

か。ときどき耳元で誰かが私に聞きます。それについて

の答えが、まだ、私の中にはありません。

花火の音

花火の音。溶暗。

119号室と120号室

1

天道と星、それぞれ頭に将棋盤を描きながら、棋譜を口に出すだけの将棋をしている。

天道 6八歩  
星 同飛  
天道 6七歩  
星 6四銀  
天道 同銀

花火の音

星 始まりましたね。  
天道 音だけの花火つても乙なもんですね。  
星 ポジティブですね。5四歩  
天道 同玉  
星 5八飛  
天道 うああ。5五歩  
星 7四銀  
天道 9七歩成  
星 6六桂  
天道 まじか。あなた、AI使ってますか。  
星 まさか。スマホはあつちに置いてきましたよ。  
天道 あなた自身がAIとか。  
星 AIに見えますか？  
天道 4四玉  
星 8三銀成らず  
天道 まじか。やっぱりAIだ。  
星 ちがうって。  
天道 ほんとうは藤井七段ですか？  
星 藤井七段がいま、こんなところにいるら大騒ぎですよ。

天道 8人と  
星 同玉

花火の音

天道 7七歩  
星 5四飛  
天道 負けました。  
星 投げるの早くないですか。まだ粘れますよ。  
天道 いやあなたが強すぎる。ちよつとかなわなレベルですよ。プロ目指してたとか？  
星 かつてはね。  
天道 やっぱり！奨励会にいたとか？  
星 いやそままでいってないですよ。  
天道 棋士でないなら、仕事なんですか？いや、これは立ち入ったこと聞きすぎかな。  
星 いやいいですよ。私医者なんです。  
天道 お、そうなんだ。そっちの業界ではどうい話になってます。このあと。  
星 このあとって。  
天道 人類全滅？  
星 そんなばかな。  
天道 3年続きますかね。5年？10年？  
星 誰にもわからないんじゃないでしょうか。  
天道 そっちの業界の空気だけでも知りたくないなあ。  
星 あなたが思っているような医者じゃないんです。  
天道 と、いいますと？  
星 美容整形が専門です。  
天道 あ、なるほど。  
星 韓国に派遣されて研修を受けてたんですが、呼び戻されました。元の職場が大忙しになってしまつて。  
天道 そうなんですか。

星

今のうちに美容整形をしておこうっていう人が増えてい  
るんですね。ほら、今だとみんなマスクをしているじゃ  
ないですか。

天道

なるほど。じゃ、1年か2年たつてマスクを取つて職場  
に来られるようになったら：

星

みなさん、ほうれい線がなくなってますよ。

天道

まじつすか。

星

それに、海外で美容整形手術を受けられなくなつての  
で：

天道

国内でやるしかないわけだ。なるほど。もう

星

かつている仕事もあるんだなあ。うらやましいつすよ。

天道

あなたは？

星

真逆ですよ。イベントの企画会社やってるんですけど、  
中止、中止、中止。不要不急つてやつです。

天道

わかりますよ。お気の毒です。

星

お気の毒とか言つて、本当はこう思つてるんですよ。ざま  
あみろ、うしし、負け組め。

天道

そんなこと思つてません。

星

いいつすね。そつちは。

天道

そんなことありませんよ。私は得してません。もっと韓  
国にいるはずだったんですよ。

星

え、もつといたかつたの？

天道

はい。いたかつたです。

星

(間) ごめんなさい。ついイライラしちゃつて。不要不急  
つていうけど、人が集まるイベントを作るのが、私にはす  
べてなんです。

花火の音

星

不要なものなんかないし、今やるべきことかどうかは、  
人に決められることじゃないですからね。

天道

そうなんですよ。でもなかなか、わかつてもらえないとこ  
には、わかつてもらえなくてね。

星

お察しします。いや、そんな言い方も無責任かな。

天道

いや、いいんです。

星

どう言えればいいのか：

天道

いや、いいんですよ。優しいんですね。

星

そんなことは：

天道

怒つても、恨んでも仕方ない。今は、窓の外を見ているし  
かありません。

星

そうですね。

天道

ホタル、見られるそうですよ。

星

聞きました。

天道

花火が良かったなあ。

星

ホタルもいいじゃないですか。私初めて見るんですよ。

天道

そういえば、私も初めてです。

星

何か少しでも、楽しみを見つけないとね。

天道

将棋以外に何かやりますか？

星

何がありますか？

天道

90年代Jポップイントロクイズ、とか、どうですか。  
なんですか、それ。

210号室と211号室

1

花火の音。光恵、空を見上げる。

月世

見える？

光恵

見えません。

月世

音だけじゃね

光恵

楽しめないですね。

月世

うるさいだけ。

花火の音

光恵

残念ですね。  
地元の人も見に行つてないんですつて。予告なしに始め

光恵 へ、人が集まらないようにしてるんだって。  
 花火大会やるのも大変ですね。  
 月世 そうなのよ。  
 光恵 向こうの部屋だったらよかったなあ。  
 月世 部屋割りって誰がどうやって決めてるのかな。  
 光恵 順番みたいですよ。単純に。  
 月世 そうなの？でも海側と山側があるじゃない、このホテル。  
 光恵 私たち、たまたま山側の部屋が空いたんで、山側に入っただけみたいです。  
 月世 よぶんにお金を払うと海側に行けるとか…  
 光恵 そういうのはないんですって。宿泊料金も一律ですけど、部屋もみんな同じ、ごはんもみんな同じ。海側か山側かは運次第。  
 月世 ごはんの違いがあつたら怒るわよ。  
 光恵 そうですよ。なにしろエンジョイできるのはお弁当だけですからね。  
 月世 あれ、エンジョイできているの？  
 光恵 あれしか楽しみがないから。  
 月世 たしかにね。でもあんまり味が無い時があるのよ。  
 光恵 味が無いって、心配ですよ。  
 月世 味覚障害かな。  
 光恵 味、わからないですか。  
 月世 けさの味噌汁。  
 光恵 大丈夫。あれは本当に味がありませんでした。  
 月世 よかった。  
 光恵 味噌の量間違えたんですね。  
 月世 まずいつて感覚も大事よね。  
 光恵 毎回まずいわけじゃないけど。でもなんで、朝から晩まで、必ずちくわが出るんでしょうね。  
 月世 そうなのよ。朝ご飯が、バタートーストとベーコンエッグとサラダとちくわわってね。  
 光恵 それ昨日ですよ。3日前っていました？  
 月世 私来たの2日前。

光恵 私3日前に来たんですけど、昼ご飯カレーライスにサラダにちくわでしたよ。  
 月世 ちくわが免疫機能上げるとか、そういうデータでもあるのか。  
 光恵 花火の音  
 光恵 花火見たいなあ。  
 月世 不公平よね。  
 光恵 来週くらい、こっちではホテルが見られるかも、らしいです。  
 月世 こっちはホテルかあ。ピミヨーだなあ。  
 光恵 そうですね。それも大雨とか降ったらダメみたいですよ。娛樂がないからね。  
 月世 2週間ですからね。  
 光恵 どうやって過ごすかね。  
 月世 (スケッチブックを見せる)これ、フロントでくれますよ。  
 光恵 スケッチブック？絵を描くの？  
 月世 描こうかなと思つて。でも描いたことないしなあ。結局、描かないかも。  
 光恵 海外には仕事で行つてたの。  
 月世 これ言うと怒られますけど、旅行です。  
 光恵 怒らないよ。前から決まってるって、向こうの人と約束して、その時期の予約入れたらしようがないよね。  
 月世 いえ。一人旅です。格安になつてたから。先月決めたの。それを言うと怒られるかも。  
 光恵 でしょ？  
 月世 というか、リスク高すぎでしょ。  
 光恵 こういう時でもないよ、海外行く機会なんてなくて。ここは一つ勝負だ、って。  
 月世 ギャンブラーだねえ。  
 光恵 ここで家に閉じこもつても、人生変わらないぞって。  
 月世 人生変えたいんだ。



光恵 はい。  
月世 仕事は何してるの？あ、立ち入ったこと聞きすぎ？  
光恵 かまいませんよ。私、司書なんです。秘書じゃなくて、司書ですよ。図書館で働いてる人です。

月世 えー。  
光恵 そんなに驚かれたの初めてです。司書に見えませんか？みんなすごい司書に見える、司書にしか見えないっていうんだけど。  
月世 いや、そうじゃなくて。私、来年、芝居に出るのね。  
光恵 役者さんなんですか？

月世 図書館長の役なのよ。  
光恵 それはびっくりですね。  
月世 だからびっくりしたのよ。  
光恵 ときどき、ここで何か図書館とか、本のことを話されているのは聞こえていたんですけど。

月世 あら、ごめんなさい。  
光恵 いいえ。携帯で誰かとお話しされてると思ってました。稽古されてたんですね。図書館が出てくるお芝居なんですね。  
月世 過疎で閉鎖されてしまう図書館なんだけどね。

光恵 え？  
月世 みんなで壁に絵を描いて、図書館とお別れをするの。  
光恵 聞かせてもらえませんか。その、せりふ。  
月世 聞いてくれるの？  
光恵 手をたたいてくれる？（光恵手をたたく。月世せりふを言う）「みなさん、さよならを言ってください。図書館とお別れです。みなさんが大切に読んでくれた本たちはもうここにはありません。お別れに絵を描きましたよ。みなさんの好きな花や動物を好きなところに描いてください。絵を描けるのも、本が読めるのも、私たちが人間だから。ここが人間の場所だからです。ラスコー洞窟の壁に生き生きと動物たちを描いたクロマニヨン人は

ナイフで武装してました。ホラアナライオンに襲われる可能性があったからです。ここにホラアナライオンはいません。人間の場所だもの。本たちがこの人間の場所をつくっていました。文化という光を、言葉の輝きを、みなさんはいっぱい浴びていました。きっとみなさんの中で、素敵な光合成が起きて、芸術を生む力は、葉脈の中を力強く流れているのです。みなさんは自信を持って、のびのびと、自由に、人間らしく、好きなものを好きなところに描いてください」

光恵 どう？  
月世 え？  
光恵 図書館長らしく聞こえる？  
月世 十分聞こえると思います。  
光恵 ありがとうございます。  
月世 ありがとうございます。  
光恵 そうなんですか。  
月世 いつも、殺人犯とか、刑事とか、くのいちとかでき。こういう役あんまり来ないのよ。  
光恵 舞台劇に図書館が出てくること自体、少ないんじゃないでしょうか。

月世 そうかもね。何かの縁だね。  
光恵 司書は、たくさんいますから。役者さんと違って。  
月世 役者さんっていつでも、私会社でも働いてるのよ。  
光恵 そうなんです。じゃ海外に行ってたのはお仕事ですか？  
月世 海外公演とかじゃなくて。  
光恵 いまどき海外公演はないわよ。仕事でもない。  
月世 ごめんなさい。立ち入ったこと聞きました？  
光恵 うえん。そんなことないけど。

月世 上演、見に行きます。  
光恵 東京じゃないのよ。  
月世 行きますよ。とつても楽しみ。  
光恵 もうすぐホタルが見られるんでしょう。  
月世 大雨さえ降らなければ。

光恵

月世

まあ、こう退屈じゃ、何かないとね。退屈で死んじゃう人が出てからじゃ遅いもんね。

天道

光恵

退屈では人は死にません。

月世

ねえ、あそこにある青い光は何星じゃないですか

光恵

あんな大きな星ないんじゃない。あたし灯台か何かかと思つてたけど、あのあたり海じゃないわよね。

月世

ずっと山ですよ。なんででしょうね。

光恵

こんなことを考えるのも、ヒマだからよね。退屈だからですね。でもお話しする相手ができただのほうらしいです。

月世

ありがとうございます、あたしもよ。

インターミッション。音楽。宇宙飛行士1がゆつくりと少し寂しげに闇の中を通り過ぎる。

119号室と120号室

2

天道

光りましたね。

星

光りましたね。

天道

消えましたね。

星

消えましたね。

天道

光りましたね。

星

消えましたね。

天道

光りましたね。

宇宙服ですか。

そう。買いつけてくれますか？無理ですよ。私が買って何に使うんですか。仕事の合間にあれを着て散歩すると気分転換になって健康的ですよ。感染予防にもなる。変な人に思われますよ。

天道

エッチなプレイとかに使うのはどうでしょう。(一人二役で)なにをするんです、船長。ふふふ。よいではないか。この宇宙ステーションには君と私2人だけしかおらぬ。さあ脱ぎたまえ。他の者はみな宇宙生物の餌食になってしまったのだ。

星

そんな修羅場でなんでエッチなことができるんですか。よいではないか。よいではないか。

天道

宇宙ステーションにあって悪代官が。6着も買ったからなあ。

星

イベントに必要ななら仕方ないでしょう。また使えるときが来ますよ。

天道

宇宙と未来を考えるフォーラムを開けるのはいつでしょうね。もうみんな地球のことだけでせいっぱいだ。

星

人類はずっと宇宙のことを考えてきました。それをやめてしまふことはありませんよ。

天道

いい人ですね。

星

そうですね。

天道

光りましたね。

星

光りましたね。

天道

消えましたね。

星

消えましたね。

天道

わたしたち、アホみたいじゃないですか。みんなホタルを見ながらどんな会話するんでしょうね。俳句とかつくるのかな。

星

いいことを考えましたね。つくりましょう。簡単に言わないでくださいよ。つくったことないんですから。

天道

なんか、考えて。私も考えるから。短冊もありますし。

星

スマホでつくりますし。

天道

スマホ？

星

俳句アプリってあるんですよ。知ってます？俳句でふてふてを使いましょ。

星

天道

星

天道

星

天道

星

天道

星

天道

星

天道

星

天道

星

天道

星

天道

俳句でふてふ？  
アプリストアで取れると思いますよ。

(スマホで探す) あ、これ。

そうそう。インストールできますか？去年リリースされたんですよ、

ああ、ここに書き込めばいいんですか？そうすれば、あなたにも読めます？

というか、世界中から読めます。

やばい。

アカウントネームでいいんですよ。

あー、では、星、にします。

スターの星、ですか。いいですね。由来とかあるんですか。

僕の名字です。

そのまんまじゃないですか。じゃあ、私は天道で。

天の

道

由来はなんですか。

私の名字です。

そのまんまじゃないですか。

俳句考えましょう。

2人、考える。

あ

思いつきましたか。

打ち込めばいいんですね。

そうそうバックに写真も入れられます。

おー

蛍火や、おー、部屋からホタル、見るホテル

これはだめですね。

そんなことないですよ、

俳句と言うより、駄洒落ですよ。ホタル二つ入ってるし。

天道

星

天道

星

天道

星

天道

星

天道

星

天道

星

天道

星

天道

星

天道

いや言葉が折り重なって別の味わいがありますよ。うん。  
ホテルでホタル。人工的なホテルという言葉と、自然界を象徴するホタルという言葉が響き合っていて、それなりにいい。

本当ですか。あ、「いいね」がつかました。

私がつけたんです。

あー。ありがとうございます。

その調子で他にもつくってみてください。

こんなんでいいんですか。ええ。じゃあね。

季節違っていいですか。

別に夏じゃなくても。

よし。雪の山(書き込む)

おー、(読む) またぎが川をまたぎこえ

だめだなー。

いや、そんなことはない。ホタルガリをしながらクマ狩りの句つても乙なもんですよ。クマを追う猟師が、猟銃

を手に、谷川をまたいで森に分け入っていく様子が目に浮かぶようだ。

本当ですか。

才能ありますよ。

あ、いいねついた。ありがとうございます。

いや、私つけてないです。ええっ。誰か、どこかでいいね

つけた人がいますよ。今の句に？ええー、信じられない。

信じられないって。ひどくないですか。あなたもつくって

ください。

よし、蛍火や(打ち込む)

おー(読む) ホタルを語るカタルシス。おー

どうですか。

韻を踏んでいる。いいねつきますね。

ありがとうございます。つくってつくって

蛍火や(打ち込む)

(読む) 光ってる虫をわれら無視。は？

星 私たちは話に夢中になって、せつかく光ってくれているホ  
 タルを、まるで見てない。  
 天道 ホタルは自分たちのために光ってるんです。私たちのため  
 じゃない。(ホタルに叫ぶ)おれは花火が良かった。  
 星 どうしたんです。  
 天道 ちよつと自己主張したくなつてね。  
 星 ちよつとわがままですよ、  
 天道 そうかもしれない。イライラがたまつてて。  
 星 わかりますけどね。  
 天道 いろんな人からライン来るんだけど、みんな「頑張れ」っ  
 て書いてんですよ。  
 星 同じです。頑張れって言われても何頑張るんだよつて  
 いらつくんだよね。  
 天道 そうなんですよねー。  
 星 でも他にどういえばつて話ですよ。  
 天道 他にいいようなないんですよねえ。あれ。  
 天道 どうしました。  
 星 誰か叫んでる。  
 天道 私はホタルがいつて。  
 星 はは。反論されてますよ。  
 天道 いろいろな意見があつていいんです。多様性は大事ですよ。  
 星 あれ。  
 天道 また誰か言いましたか。  
 星 私も光を出すとかなんとか、  
 天道 私も光を出す？それはまた…多様性があるなあ。  
 星 俳句に戻りましょう。あなたの番ですよ。  
 天道 そうですね：濃厚接触、乞う  
 星 は？  
 天道 どうしました？  
 星 いや、俳句の意味が：  
 天道 俳句じゃありません。わたしからあなたへのメッセージで  
 星 え？

天道 濃厚接触、乞う。  
 星 濃厚接触、ノー  
 天道 ノーですか。まじつすか。  
 星 だって、どうやって。  
 天道 どうって簡単です。私があそのドアから出て、あなたの  
 ドアをノック。あなたがドアを開ける。そっちの部屋のベ  
 ッドに2人で行く。あとはまあ、よいではないか、よいで  
 はないか、みたいな。  
 星 いやいやいや。隔離されてるんですよ。人と接触できない  
 2週間なんですよ。  
 天道 法律で決められてるわけじゃない。あくまでも…よいでは  
 ないか。  
 星 よくありません。  
 天道 私は先生のタイプじゃないですか。  
 星 いやいやいや。そういう問題じゃなくて。  
 天道 シンプルに考えましょう。結局、人生、濃厚接触じゃない  
 ですか。濃厚接触なくしてなんの人生ですか。私たちその  
 ために生きてるんじゃないんですか。  
 星 今、そうはいかないじゃないですか。ホタルを見ましょ  
 う。  
 天道 あいつらだつて、濃厚接触のために光ってるわけでしょう。  
 光でメスを引きつけて、濃厚接触したいから光ってるんで  
 しょう。3日か4日しか生きられないっていうじゃないで  
 すか。その間、やることつて、やることだけでしよう。そ  
 のために光ってるんでしょう。やつらの方がずっと人間よ  
 りシンプルで、正しいよ、先生。もしかして、先生もメス  
 がいいとか。そうじゃないんでしょう。  
 星 そう、かもしれません。  
 天道 なんて？  
 星 そう、かもしれません。わからないんですよ、実は…混乱  
 しているんです。こんなこと、言うの、どうかと思うんで  
 すけど…揺らいでるんですよ。ソウルで女の人と、あるじ

星 天道

やないですか。同じ職場の女のひと、友達のノリで飲みに行つて、もちろんパンデミックの前ですよ。そりやあるけど。

そのとき、自分が揺らいだんです。おかしくなつたんです。なんか、ハプニング的っていうか、流され的っていうか、押し切られたというか、押し倒されたっていうか、そういうわけじゃないんだけど、こっちはこっちでいろいろしたんだけど、でも、それがその一晩で終わらなくなっちゃつて。なんか、毎晩。いや、毎晩つてこともないんだけど。まさか女のひと。いや、僕は何を言つてるんだらう。ゲイだと思つてた。

天道 星

そう思つてましたよ！僕自身がいちばん！なんと隣もか、すげえぞつて思つてた。神様の、なんというかな、贈り物？

星 天道

すみませんね。そうじゃなくて。いや、そんなことは。人間つてシンプルじゃないんですよ。いまの僕みたいな時期はなかつたですか。

天道 星

私にはなかつたなあ。ごめんなさい。いやあ謝ることじゃないよ。そう、たしかに人間はシンプルじゃないよね。

星 天道

ごめんなさい。だから謝らなくていいって。あ。なんですか。

天道 星

思いついた、「揺らぐ夏 濃厚接触 ノー悲し」。今の残念な気持ちを表現したんだけど。どう？ごめんなさい。だから謝らなくていいって。

205号室と206号室の2

ジュア

陽 ジュア

陽 ジュア

陽 ジュア

陽 ジュア

陽 ジュア

陽 ジュア

陽 ジュア

陽 ジュア

陽 ジュア

日本人の「狩り」と言う言葉の使い方はとても多様です。シカ狩り、イノシシ狩り、といえ、シカやイノシシは獲物ですね。でもホタルガリ、ではホタルを捕まえるのではなくて見るのですね、タカガリ、のタカはとらえるものでも見るものではなく、狩りの手段ですね。シオヒガリ、というものもありますね？よく知つてますね。ホタルを見つめることは日本人にはハンティングなのでしょうか。小さな光を目で追いながら、自分の心の中の獣を探すのでしょうか。そんな風にはとて面白い。日本のお弁当もおいしいです。日本文化はとて面白い。日本のお弁当もおいしいです。

まじ？そうですか？  
みなさんは朝も昼も夜も、ドーナツ状にした魚のすり身を食べるんですね。  
普通、朝も昼も夜もは食べません。  
けさ、パンを切つて野菜とはさんでありましたね。  
ああ、ちくわレタスドッグね。  
もし日本に来なければ、私はきっと一生食べませんでした。  
日本にいてもふつうは一生食べません。私も初めて見ました。  
光りましたね  
光りましたね。  
消えましたね。  
消えましたね。  
光りましたね  
誰か、なにか叫びましたね。  
叫びましたね。なんて叫んだんだろう。  
私は火花が良かった、と聞こえました  
たしかにそう聞こえました。私はその意見に賛成ではありません。賛成ではないということをお伝えしたい



陽

ジュア

僕は去年まで、同じ貿易の会社でもっと大きな商社で働いていました。いまよりずっと給料は良かったけど、上司が、すぐに「死ね」って言うんです。それは良くないですね。

陽

ジュア

ちよつとした失敗で、彼もそれほど悪気はないと思うんですが、口癖みたいになつていて、一日に一回は「死ね」って。

陽

そんなことはできないですから。できないことを人にしろと言うのは、良くないですね。そうなんです。だんだん重くなつてきて、そんな時に今の会社の社長に出会つて。思い切つて転職しました。小さな会社で、輸入しているものも専門性が高くて、小さなものが多いんです。給料は下がったけど、人間関係は良くて、働きやすい職場でした。今回は初めての出張でした。初めて、大きな仕事を任されたんです。

陽  
ジュア

陽  
ジュア

おお。それは良かったですね。周りの期待に応えなかったのもあるけれど、私自身がやりたい仕事でもあったんです。アジアの小さな国で、民間の蝶の博物館が一つ、閉館しました。パンデミックが原因ですか。

陽  
ジュア  
陽  
ジュア

そうですね。博物館の入館者がとても減つてしまったそうです。そこでは蝶の標本のコレクションが世界的に有名で、散逸してしまつたらもつたない。ぜひまとめて日本の博物館で購入したい、そういう話をしに行つたんです。素晴らしいコレクションを日本で見てもらうことができますし、私たちが支払うお金は、運営している会社を建て直すのにも役立つはずでした。素晴らしい。いい仕事ではないですか。でもダメでした。断られてしまつて。それは残念ですね。どうして断つたのですか。断られないと思つたんです。日本から行って、直接交渉すればきっと受けってくれると思ひました。

ジュア

そう。情熱は、電話やメールでは伝わらないことが多いから。直接会うのは大切ですね。

陽  
ジュア

でもだめだったんです。それは残念。

陽

いくら話しても、館長は考えを変えなくて。蝶たちをあなたに渡すことはできない、と繰り返し返すだけ。ほかに譲渡先が決まっているとか、金額が折り合わないとか、それならまだ交渉の余地もあると思うのに。理由をはっきり言つてくれなくて。この取引はあなたにとつて得だ、ということも、私たちはあなたたちのコレクションを最大限に生かすことができる、ということも伝えましたが、彼女の意思を変えることにはなりません。あなたには渡せない、とだけ。運河の流れるまちで、僕は何度も振り返りながら、彼女のオフィスを離れました。考え直して電話をくれるんじゃないか、と何度も携帯電話を見ました。でも、結局ダメでした。

陽  
ジュア

理由がはっきりわからないと、説得も難しいですね。そうなんです。自分が情けなく思えてきて。アジアの小さな国で、鉄のような意思を持って彼女は僕の提案を拒み続けている。僕は彼女に気持ちを変えてもらうための言葉を持っていない。社長に電話しました。社長は報告を聞くと「し」と言いました。

陽  
ジュア

何か言いかけて止めた。「わかった。それでいつ帰国する？」と次の言葉が出てきました。なんとと言うとしたのか分からないんです。でも、前の職場で言われ続けた「死ね」という言葉が耳の中で響きま

ジュア

した。今も響いています。社長さんはこう言おうとしたのではないですか。「しかたないね」

陽  
ジュア

そうかもしれません。「しぶとく、頑張り」

陽 ジュア それもあり得るかも知れません。

陽 ジュア

「品川は東京の次の駅」

陽 ジュア

それはないでしょう。

陽

どちらにしても、「死ね」という言葉は、あなたは言われていない。耳から追い払いましょう。

陽 ジュア

ありがとうございます。ああ。なんでこんなことになつてしまったんだろう。なんであんなに頑張つたのに、受け入れてもらえなかつたんだろう。

陽 ジュア

アジアの小さな国の蝶の博物館。

陽 ジュア

ええ。館長はアフリカ出身の女性で、ドキュメンタリー映画の監督としても知られていて。

陽 ジュア

待ってください。館長つて、メイ・カタですか？

陽 ジュア

知ってるんですか。

陽 ジュア

同じ国の出身です。彼女は王族なので、私たちよりも危険が大きくて、もっと早く国を出ました。でも、とても尊敬されている。知っていますか。彼女の撮つたライオンの映画。

陽 ジュア

ええ。見ました。

陽 ジュア

危険な撮影だつたそうです。みんな、死んだヌーでライオンを誘い出して撮影しようとした。彼女はそんなことは望まない、と言つた。装甲車を改造した撮影用の車を一人で運転して山に登つた。キャタピラーが壊れたら自分で修理したそうです。そして彼女は、初めて成功した。雪の中を歩くライオンの姿の撮影に、です。

陽 ジュア

そんな人だからこそ、僕はサポートしたかつたんです。

陽 ジュア

(間) 私は、もしかしたら、と思うことがある。

陽 ジュア

想像ですよ。本当かどうかわからない。アキラさん、あなたは私にとっても優しい。親切ない人だ。でもときどき、ときどきですが、私を少し上から見ているような、日本人が上で、外国人は下だ、という、そういう視線を感じることがある。

陽 ジュア

そんな！

陽 ジュア

私の気のせいならいいのですが、でも、もし日本の若者がメイ・カタを訪ねて「サポートしたい」と言つたとする。メイ・カタはきつとあなたをじつと見るでしょう。

陽 ジュア

観察のプロの目です。あなたは素晴らしい提案をしてくれる友人なのか、死んだヌーなのか、見きわめようとするでしょう。

陽 ジュア

はるばる日本から行つたんですよ。

陽 ジュア

誇り高い人というのは、いつもライオンのように誇り高いですね。サポート、という言葉は難しい。自分の思う形でないサポートを望まない人はきつと、たくさんいます。

陽 ジュア

(泣き出す)

陽 ジュア

どうしたんです。泣いてるんですか。

陽 ジュア

すみません。泣き虫で。見ないでください。

陽 ジュア

(ノートを取り出す)

陽 ジュア

メモまで取らないで。

陽 ジュア

泣き虫。面白い言葉です。泣く人は虫なのです。反対語は？

陽 ジュア

私の友人のスーザン・ブリックハウスは、1時間か2時間に一つ、オリジナルのジョークを考えて、言います。

陽 ジュア

すごいですね。面白いんですか。

陽 ジュア

いいえ。全然面白くないので、誰も笑いません。でも彼女自身は、すごく笑います。日本にはそういう人はいませんか？

陽 ジュア

スーザンは、笑い虫ですか？

陽 ジュア

そういう言葉はありません。

陽 ジュア

私は意見を伝えるほうがいいと思いましたが、でもあなたを傷つけたなら、ごめんなさい。



陽

恥ずかしいところを見せて済みません。自覚してました。パンデミックで閉館することになった博物館を私はサポートしたいと思っただけです。その気持ちは嘘じやなかった。でも、それは少し上から目線じやなかったか。その態度がよくなかったのではないか。ずっとここで、繰り返しそれを考えていました。私にはこの仕事をする価値がないのではないか、いや、自分には存在する価値すらないのではないか。そういうふうに思いました。

そんなことを言わないでください！  
え？

陽  
ジュア

そんな恐ろしい言葉を口にしないでください。あなたがそうではないだけで、そんな人はいません。そんな恐ろしい言葉は、あなたたちのおとぎばなしの中のミステリアスな箱に入れて海の底に沈めてください。わかりました。

陽  
ジュア

部屋を替えてもらえるそうですよ。隣の人とトラブルになった場合は。

陽

これはトラブルではありません。部屋はこのままでいいです。

ジュア

こう考えればいいのではないのでしょうか。あなたはまだ仕事を始めたばかり。つらい経験をして、あなたは変わります。世界がきつと少しずついい方向に変わるようになります。

陽  
ジュア

ありがとう。でも自分が情けなくて。

ものごとには完成と、途中がある。途中のものは美しくない。でも、途中の美しくない、をたどらないと、美しい、にならないですね。私は生まれた国で建設中の観覧車を見たことがあります。サボテンのモンスターのようでした。やがてゴンドラがつき、電気がつき、夢のよう美しい、神様の贈り物になった。そして爆撃され、またとげだらけの怪物に戻りました。途中のものも、壊

陽

れたものも、美しくないのは同じですね。でもその二つはけっして、同じではありません。光りましたね。

陽  
ジュア

光りましたね。消えましたね

陽  
ジュア

私に日本語を教えてくれた人は言った。人を励ますとき「頑張つて」という言葉がある。

陽  
ジュア

ええ、あります。

陽  
ジュア

だが、簡単に使つてはいけません。頑張れない人に簡単に言うとは、かえって傷つけることがある。

陽  
ジュア

そうかもしれませんね。

陽  
ジュア

あなたは頑張れる人ですか。アキラさん、それともいまは頑張れないけど、未来に頑張れる人ですか

陽  
ジュア

光りましたね。

陽  
ジュア

光りましたね。

陽  
ジュア

消えましたね。

陽  
ジュア

僕は：未来に頑張れる人です。

陽  
ジュア

そのとき、頑張つて。

陽  
ジュア

ありがとうございます。わ。見てください。一度にたくさん光りましたよ。

陽  
ジュア

(黙る)

陽  
ジュア

どうしたんです。

陽  
ジュア

(黙ったまま)

陽  
ジュア

何か

陽  
ジュア

あそこに青い光が見えますね

陽  
ジュア

ああ

陽  
ジュア

あれは虫ではないですね。ライトハウス、ええと、

陽  
ジュア

日本語で、灯台、ですか、

陽  
ジュア

いやあそこは山なので、灯台ではないでしょう。トンネルではないでしょうか。

陽  
ジュア

あんな色のトンネルは見たことがないですね。

陽  
ジュア

たしかに。なぜあんなに青いんだろう。

陽  
ジュア

陽  
ジュア

陽  
ジュア

陽  
ジュア

陽  
ジュア

陽  
ジュア

陽  
ジュア

陽  
ジュア

陽  
ジュア

ジュア 私たちの世界にはまだ、解けない問題が、たくさんありますね。

210号室と211号室

月世と光恵が手を伸ばし合って、携帯電話を近づけている。

(携帯電話を見て) できた!

月世 (携帯電話を見て) できましたね。

月世 隔離されているとライン交換するのも大変だね。

光恵 ありがとうございます。

月世 始まった!

光恵 本当だ。

月世 光ったね

光恵 光りましたね

月世 また光った

光恵 また光りましたね

月世 いいね。

光恵 素敵ですね。

月世 あれってメスが光ってオスを引きつけてるの。

光恵 逆じゃないですか。発光するのはオスで、光に引き寄せられるのがメス。

月世 じゃ、あたしたちが見てるのは、ラブシーンなのね。

光恵 ここからだとか見えないですけどね。

月世 だからいいのよ。ホタルってさ。近くで見るとちよ

つとゴキブリっぽくない?

光恵 そうですかあ。

月世 遠くから見るといいのよ。

光恵 そうですね。図書館もそうですよ。

月世 え?

光恵 遠くから眺めたり、本を借りに来たりすると素敵な

場所ですが、近づくと、そんなに素敵じゃないです。

月世 わかった。セクハラで困ってるでしょ。なんでですか。

光恵 なにか悩み抱えてそうに見える。

月世 セクハラじゃありません。

光恵 上司と部下とで三角関係とか。

月世 月世さん、想像力豊かすぎです。

光恵 ちがうか。

月世 図書館でセクハラは無理ですよ。女性のスタッフ多いですもん。男性司書はおとなしい人が多いですし。

光恵 1回ね。変な口ぐせのある人が来たことはありますけどね。

月世 え? どんな人。

光恵 なんかつ事が忙しくなると必ず「一発やらせろ」って言うんです。

月世 それ完全にアウトでしょ。

光恵 それでもね。なんかいやらしい感じじゃないんですよ。完全に独り言で。言っちゃいけない言葉を言い

月世 たくなる病気なんじゃないかな。別に特定の相手に言うわけでもないし。毎日言うから慣れちゃって。

光恵 そうはいつでもねえ。

月世 私たちいっぱつあんなってあだ名で呼んでてね。仕事はちゃんとするから、けっこう人気があったんだ

光恵 けど、館長が、そう、月世さんが演じていらつしゃ

月世 その初日に、館長の前で言ったもんだから。

光恵 一発やらせろって。

月世 そうなんですよ。いっぱつあんな、一発でアウトになっちゃって。

光恵 あらあ。

月世 私はむしろ残念でしたけど。

光恵 じゃあ、光恵さんは何に悩んでいるのかしら。抱えている秘密は何?

月世 悩んでいるわけじゃないですが、秘密はあります。

月世　いいわね。  
 光恵　月世さんはどうなんですか。秘密は持っていないの？  
 月世　あたし？悩みはいっぱいあるけど、秘密はないなあ。  
 光恵　本当？  
 月世　仕事しながら劇団やっているとね。カネもヒマもない  
 光恵　んだけど、秘密も持てないんだよね。全部バレバレ。  
 月世　カネがないのもヒマがないのもみんな知ってる。  
 光恵　いいなあ。じゃ、一つだけ質問。  
 月世　なに？  
 光恵　どうしてこの時期に外国に行ったんですか？それは  
 月世　秘密ですか？  
 光恵　秘密じゃないよ。外国に住んでいる父親が危篤だっ  
 月世　て言うからさ。  
 光恵　ごめんなさい。  
 月世　いやいいのよ。危篤っていわれて駆けつけたらさ、  
 光恵　持ち直しちゃって。マリアが、あ、親父の今の奥さ  
 月世　りんだけど、ちよつと大げさに言ったみたいでさ。  
 光恵　そうだったんだ。でもよかったですね。  
 月世　まともに話ができないんだけどね。もう認知症が進  
 光恵　んでて。マリアがマリアってわかるんだけど、私が  
 月世　私ってのは、わかんない。  
 光恵　それは、つらいですね。  
 月世　親父が持ち直したんで、車いす押して、病院の中庭  
 光恵　をちよつと散歩したのね。そしたら私を看護師だと思  
 月世　ったみたい、親父が「ありがとうね。私には君く  
 光恵　らいの年の娘がいてね」ってさ。  
 月世　まあ。  
 光恵　私よ、って言えなくて。女優なんだよ。子ども向け  
 月世　の戦隊ものとか出てる。ピンクの仮面をつけた正義  
 光恵　の味方の役をやっててね。カマキリ魔女を倒すんだ  
 月世　て。  
 光恵　覚えてくれてるんじゃないですか。戦隊もの、出て  
 月世　たんでしょう。

月世　出た。親父見てたのね。でも肝心なところ間違っ  
 光恵　てんのよ。  
 月世　あたしの役がカマキリ魔女だったの。  
 光恵　（間）カマキリのメスって交尾の後、オスを食べる  
 月世　じゃないですか。  
 光恵　ええ。  
 月世　たまに、逃げるオスがいますって。  
 光恵　あー、虫の世界にもクズ男っているのね。  
 月世　そういう時、メスはどうすると思います？  
 光恵　どうするの？  
 月世　追いかけるんですって。で、つかまえて食べる。  
 光恵　メスカマキリ、やるね。  
 月世　でしょ。  
 光恵　光恵さんの秘密はなに。  
 月世　初めて言いますね。  
 光恵　いいわね。言ってみて。  
 月世　（間）私ね。つくる人になりたいんです。  
 光恵　ほーほー  
 月世　おかしいですか。  
 光恵　おかしくない、  
 月世　おかしくない、  
 光恵　月世さんが、図書館の仕事を素敵っていつてくれて、  
 月世　うれしかったんです。私もいまの仕事が嫌いなわけ  
 光恵　じゃない。でもね、あそこにあるのは、つくる人が  
 月世　命の火花を散らして書いたものばかり。小説も詩も  
 光恵　ドキュメンタリーも。すべてつくる人が火花を散ら  
 月世　して書いた。だから、私もつくる人になりたい。書  
 光恵　く人になりたいんです。  
 月世　それはすごい。  
 光恵　すごくないです。まだ何も書いていないから。ただ  
 月世　本の整理をしていて、違和感を感じただけ。何、こ  
 光恵　の気持ち。たかさんの本たちを前に立ち止まった。  
 月世　目の前の本棚に1冊、本が入る隙間ができていて、

月世  
光恵

それを見ながら、気づいたの。私は、私が書いた本をここに置きたい。すべての本たちの中にある火花、大きな火花、激しい火花、カラフルな火花、目がくらみそうなほど、たくさんの火花。その火花が私の中にもある。この本の隙間にそれを置きたい。いいね。

私は書かなければ。書かなければその火花は誰の目に留まることもない。いつか水族館で見た透明な魚。動きだそう。なにか書けるようになる。そう思ったの。そして、とりあえず小説から書き始めました。あ、また光った

光ったね

月世  
光恵

私は光を追うメスボタルでいるんじゃない、自分が発光したいんです。それ、いいよ。

月世  
光恵

でも弱点があるんですよ。私人生経験がなくて。知識は本で読んだことばかり。私の生活は家と図書館の往復だけ。家と図書館に自転車で行く間に、パチンコとカラオケボックスとゲームセンターがあるけど、どれも入ったことないの。いっぱいいろいろな体験したいから。だからせめて一度は海外へって。でもまだ十分じゃない。

月世

いろんな経験したからって、いっぱい書けるわけじゃないしねー。

光恵  
月世

月世さんがうらやましい。自分のつくりたい劇をつくるためにカネもヒマもない生活なんて。でも大変よ。

光恵  
月世

選ばれた少数の人たちの大変さですよ。一つの舞台をつくると、お金がなくなる。あくせく働く。公演を打つ。またお金がなくなる。あくせく働く。公演を打つ。それでもできればまだいいけど、いまは公演も打ちづらい。不要不急とか言われてさ。それでもあくせく働きながら、チャンスがうかがう。

光恵  
月世

周りからは、その年で、何やってるんだ、みたいな声が聞こえる。でも、そんな中でつくり出したものが、私たちの世界を美しくしている。私もそういう側に行きたい。私ね、光恵さんの側だったけど、1年だけあるの。高校大学、演劇部だったけど、社会人1年目の時はなにもしてなかった。小説や漫画を読めばうっとりしたし、映画やドラマは心から楽しめた。劇場で演劇を見ていた時は、もう、神様がくれた時間だった。それで1年たって、やっぱり演劇やろうって。劇団に入ったの。夢中でやってるうちに、座長になつた。

光恵  
月世

素敵じゃないですか。でもときどき思うわ。23歳のとき、あのときに戻れたらなあ、って。

光恵  
月世

(間) それ、暗に、私にやめとけって言ってます？ (間) いいえ！言いません、絶対に、言いません！よかったです。

光恵  
月世

ようこそ。つくる人たちの地獄へ。ありがとうございます。遠くから見るときれいに見えるけど…

光恵  
月世

近づくときれいじゃないかもしれない？ ホタルみたいね。

光恵  
月世

近づくのには勇気がいりますね。でも誰かに近づかないと、誰ともチューできませんからね。

光恵  
月世

チューは危険だけどね。誰か叫んでる。

光恵  
月世

なんて言ってるのかな。火花が良かったって。

光恵  
月世

アホね。また誰か叫んだ。

光恵  
月世

なんて。私はホタルがいつて

月世 あなたも大声で言ってみたら  
え？

月世 つくる人になりたいって  
そんな：

光恵 さあ。今のうち。  
（叫ぶ）私も発光する  
（叫ぶ）この人は発光する

月世 ありがとう。  
光恵 きつとつくる人になれるよ。書き始めたのはどん  
な小説なの。

月世 ゾンビが徳島県を占領する話です。  
光恵 は？

月世 徳島中の人がゾンビになっちゃって。一人旅の女の  
子が阿波踊り会館に立てこもって、侵入してきたゾ  
ンビと闘うの。おとなしくて、旅に誰かを誘うこと  
もできなかったような子んだけど、闘ううちに野  
性の本能が目覚めて、どんどん強くなっていくの。  
阿波踊りの人形に隠れながら、次々にゾンビの首を  
ひきちぎり、頭を引き裂き…。変ですか。これ。

月世 （間）おもしろそうじゃない。  
インターミッション。音楽。宇宙飛行士1が宇宙空間にいる。  
宇宙飛行士2が近づく。宇宙飛行士1はそれに気づ  
き、うれしそうな身振り。2人は踊るように宇宙空  
間を駆け去っていく。

210号室と211号室

月世 光恵さん？どうしたの？

光恵、バルコニーの端に寄り、マスクをして、スケッチブック  
に「スマホ見て！」と書いている。

月世 どうしたの。何、ライン見るの？「発症しました」。  
マジ？

光恵 （携帯に打ち込む）  
月世 「38度、咳、胸の痛み、もうすぐ車で病院に移り  
ます」えー

光恵 （携帯に打ち込む）  
月世 「お別れです」そんな！

光恵 （携帯に打ち込む）  
月世 「これまでありがとう」あたしこそ。お大事に。  
早くなおして。また会おうよ。

月世 （月世を見つめる）  
光恵 どうしたの？書いて。  
（携帯に打ち込む）

月世 「死にたくない」死なないって。死なないよ。死  
ぬな！つくる人になるんでしょう。それまで死ぬな。  
図書館の本棚いっぱい自分の火花で埋めて、もうこ  
れ以上無理ってくらい、物語つくって、ぼろぼろに  
なって、それから死ぬ。大丈夫。治し方きつと見つ  
かるよ。早く元気になって、病院から電話して。私  
迎えに行つてあげるよ。一緒に遊ぼう。パチンコと  
カラオケとゲーセン行こう。思い切り、一緒に太鼓  
しようよ。

光恵 （携帯に打ち込む）  
月世 「私ここの部屋で良かった」そうね、私も。  
2人は手を振り合う。  
光恵、去る。月世、せりふの練習をする。

月世 「みなさん、さよならを言うてください。図書館とのお別れ  
です。みなさんが大切に読んでくれた本たちはもうここ  
にはありません。お別れに絵を描きましょう。みなさん  
の好きな花や動物を好きなのところに描いてください。絵  
を描けるのも、本を読めるのも、私たちが人間だから。」

21

205号室と206号室の3

外を見つめる。溶暗。

ここが人間の場所だからです。ラスコー洞窟の壁に生き生きと動物たちを描いたクロマニヨン人はナイフで武装していました。ホラアナライオンに襲われる可能性があったからです。ここにホラアナライオンはいません。人間の場所だもの。暗闇じゃない。本たちがこの人間の場所をつくっていました。文化という光を、言葉の輝きを、みなさんはいっぱい浴びていました。きつとみなさんの中で、素敵な光合成が起きて、芸術を生む力は、葉脈の中を力強く流れているのです。みなさんは自信を持って、のびのびと、自由に、人間らしく…。

陽 どうしましたか。  
ジュア きょう1人、病院に運ばれたと聞きました。  
陽 私も聞きました。入国から1週間以上たつていても、発症することがあるんですね。  
ジュア 不安を感じています。  
陽 みんなですよ。  
ジュア ここで、終わりになるのは、つらいです。  
陽 終わりになんかなりません。  
ジュア そうでしょうか。  
陽 大丈夫ですよ。  
ジュア ここまでできたのに。  
陽 みんなそう思ってるんです。世界中の人が不安なんですよ。  
ジュア ホタルが光るのを一緒に見た夜、覚えていますか。  
陽 ええ。結局、ホタルが見えたのはあの夜だけでしたね。  
ジュア 一度に5つか6つの光が見えて、あなたは喜んだ。

陽 そう、でしたね。でもあなたは黙り込んでいました。何か思い出されたんですか。  
ジュア 私が何かを思い出していたって、どうして思うのですか。  
陽 何かつらいこと、悲しいことを思い出していらつしやるように見えました。  
ジュア そうですね。あなたが見えた通りかもしれません。何を思い出されたのですか。(間) いや、この質問をするのはやめます。忘れてください。  
陽 なぜですか。  
ジュア 思い出すと、あなたはそのときのような、悲しい気持ちになるかもしれません。それはきつと、今のあなたの不安をやわらげることにならない。  
陽 そうですね。  
ジュア この滞在はあと何日ですか  
陽 4日間です。  
ジュア 僕は3日です。お互い、もう少しの我慢ですね。  
陽 おやすみなさい。  
ジュア おやすみなさい。  
2人、去りかける。  
ジュア ちょっと待ってください。  
陽 はい？  
ジュア やはり、話したいと思います。少しだけ聞いてもらってもいいですか。  
陽 あなたが、その方がいいなら。  
ジュア もう一度、さっきの質問をしてもらえますか。  
陽 え。もう一度ですか。(短い間) あなたは何を思い出していたのですか。  
ジュア 夜の海の揺れる光と、船を呼ぶ声です。  
陽 (間) なんですか。

ジュア

順を追って話しますね。私の国で、内戦が激しくなつたとき、私はまだ小さかった。反政府軍が迫つてきて、占領されるのが近いと思われた。反政府軍は、私たちと違う民族の人が多くて、占領された時に、私たちにひどいことをすると言われていました。特に女性にひどいことを。だから逃げたんです。夜中に反政府軍のいる森の中を通り抜けて、真つ暗な川の中をずっと歩きました。命が助かって、安全な場所まで暮らしたり、学校で学んだり、仕事をしたりということは、私たちの希望の光でした。光を見るためには、虫のように身をかがめ、時には手も足も水にひたして、川の中を歩くしかなかった。

怖い思いをされたんですね。

とても不安でした。家を離れて、自分たちがどうなつてしまうのか、分からなかった。川に流されないように、母がずっとそばにいてくれました。森は恐ろしかった。たくさんの人が殺された。あそこでジェノサイド、日本語でなんといいいますか。

虐殺、ですね。

そう、あの森では虐殺が行われていたのです。

あなたの生まれた国のことをネットで調べました。虐殺で亡くなった人の数を見て、僕は正直、手が震えました。

数字はにがいがしなないです。え？

数字はにがいがしません。私が忘れられないのはあのおいんです。虐殺は、それ自体が許されません。でもそれだけではない。死がリスペクトされないのです。美しい儀式もなく、埋葬もなく、森や川の中に多くの死んだ人が、物のように捨てられています。一人一人からにがいがしていました。耐えられないほど。ジュアさん。

陽

ジュア

川の中の木に座るようにしていた人が忘れられませんでした。遠くから見ると、その人は生きていて、何か黒いものを吐き出しているように見えた。生きていながら助けないと、と近づいた母が立ちすくみました。その人は何も吐き出してはいなかった。死んでいました。痛みか恐怖から叫ぶように開いた口。その口から、その人の体の中を食べていた黒い虫が、きつと私たちの気配に驚いたのでしよう。次々に外へと這い出してきたのでした。次々に、たくさん、とてもたくさん。

間

ジュア

私たちはあの恐ろしい森を抜けて、やがて海に着きました。男たちは、船を探しに行きました。隠していた船が闇に紛れて、見当たらなかったようなんです。彼らは遠くに行つてしまつて、女だけで彼らが戻ってくるのを待った。真つ暗で、波音だけが聞こえて、彼らは戻つてこず、私たちはこの海で終わりを迎えるのか、と、そんな風に思いました。もうあの森を抜けてまちへ戻ることなど考えられなかった。母たちは私に隠れているように言つて、砂浜に走り出した。懐中電灯の明かりをつけて海に向けて振りまきました。「船は来るのですか。来ないのですか」と口々に叫びました。

船？

そう。船が来れば命が助かる。来なければ、助からない。みんなで叫んでいました。「船は来るのですか？」「来ないのですか」。懐中電灯の小さな光が砂浜の上を揺れ動いて。そして遠ざかっていく。私は不安でした。でも何もできなかつた。私はただ、母たちの声を聞いていました。「船は来るのですか」「来ないのですか」

陽

陽  
ジュア

119号室と120号室 3

ジュア 私はときどき、あのときの子どもの気持ちに戻る。揺れる

光を見て、船を呼ぶ声を聞くんです。

今の私たちに船は来るんでしょうか。

(間) 船は来ます

本当ですか、

僕には闇の向こうから船が来るのが見えます。

陽 ジュア 船の大きさは？

陽 ジュア え？大きいですか。

陽 ジュア どのくらい大きな船ですか？

陽 ジュア すごく大きいです。とてつもなく大きい船です。

陽 ジュア 私たちだけでなく、救いを求めている多くの人たちも……

陽 ジュア きつと、みんな乗ることができません。

陽 ジュア いいですね。

陽 ジュア (うなずいて) 僕はなにしろ、「バリリーデーエ」です

陽 ジュア からね。

陽 ジュア バリリーデーエ・サン・バリリカルラ。

陽 ジュア 「最初に見る者」です。

陽 ジュア アキラさん、自己肯定感、バリバリっすね。

陽 ジュア はい。きつとあなたにも見えてきますよ。

陽 ジュア そう願います。(間) そりやあかんわ、の反対語ってなん

陽 ジュア ですか。

陽 ジュア 反対語ですか？あかんことない、かな。

陽 ジュア あかんことない。

陽 ジュア そうです。

陽 ジュア あかんことない。

陽 ジュア はい。

陽 ジュア あかんことない。

陽 ジュア はい。

2人、静かに闇を見つめる。

天道と星が外を見ている。

天道

あれからちつともホテルが見えませぬね。

そういうものらしいですよ、一斉に発光し、交尾し、死

んでいく。ああいう夜がそんなに何度もあるわけじゃな

いらしいです。

つまりあのときおれたちが見ていたのは。

セックスとそして「死」ですね、

すげえ。

そして、いま見えるのは闇と沈黙です。

お別れですね。

わたしもあさつてにはここを出ます。

いよいよ、明日は久しぶりの出社だ。

みんな、陽気な社長が戻ってきて喜びますよ。

どうか。おれみたいなキヤラは、ふだんならいんだ

けどさ、こういうきつとときには、うぜえかも。今ごろ

社長殺害計画を立ててるかもしれないよ。

あ、宇宙服の買い手がついているかも。

ないな。絶対、オフィスに積んだままですよ。また憂鬱

になつてきた。どうしようかな、あれ。

ごめんささい。

いや、先生のせいじゃないしさ。

ここから出たら食生活が……

そうだよ、あんなにちくわを食べなくてもよくなるんだ。

それだけでも元気出るでしょう。

このホテルさ。

なんです。

1年前にちくわ工場の寮を改造してできたんだって。

ちくわ工場の寮だったんだ。

経営者がちくわつくつてんだ。そりや、毎食出るわけだ

よ。

ここから出たら、しばらく食べないですね。



天道 言えてるよ。おれちくわ好きだったんだけど、しばらく  
星 はいいよねー。  
天道 本当ですね。ちくわ好きでも、そうじゃなくなっちゃう  
星 くらい、食べましたね。  
天道 ねえねえ。  
星 なんです。  
天道 韓国で出会った女って、そんなに良かったわけ。  
星 まだあきらめてないんですか。  
天道 濃厚接触はあきらめましたよ。これでもあきらめはいい  
星 方だね。純粹に興味本位で聞いているわけさ。  
天道 純粹に興味本位って。  
星 ゲイがゲイやめちやうほどの出会ってさ。すげえなと  
天道 思ってた。そんなに良かったの。  
星 まあね。  
天道 いいねえ。でもなんで連れて帰ってこなかったの。  
星 それはまあ、いろいろあるでしょう。  
天道 国際結婚ってのもいいんじゃない。まだまだ日本では少  
星 数派だけど、これからはさ、そういう時代だよ。  
天道 おれが少数派になるのを恐れてるっていうんですか。  
星 え？  
天道 みんなに「あいつは違う」って言われるのを恐れている  
星 っていうんですか。多数派じゃなくなるのを恐れて、自  
天道 分の本当の心をごまかして、これから先の人生を生きて  
星 いくんだって非難するんですか。あと30年？40年？  
天道 50年？  
星 そんなこと言ってるねえよ。先生  
天道 弱虫っていうんですか。  
星 落ち着けよ。先生、おれは弱虫だなんて言ってるねえよ。  
天道 言ったよ。  
星 言ってねえよ。  
天道 ほのめかした。  
星 ほのめかした。  
天道 ほのめかしてもねえよ。先生、あんた、自分で自分に言  
星 ってるんだ。おれじゃねえ。

星 (黙る)  
天道 先生、揺れ動くから、人間だ。いいんだよ。それで。怖  
星 いときはおびえて。矛盾があれば悩んで。それでいいじ  
天道 やねえか。  
星 すみません。  
天道 謝らなくていいよ。  
星 おれ、ばかみたいですね。  
天道 そんなことねえって。あ、おれも謝らなきゃ、だ。  
星 なんです。  
天道 この間適当なこと言っちゃまった。あの青い光だけどさ。  
星 ああ、おおいぬ座のシリウスって言ってたやつ。  
天道 違ってた。  
星 別の星だったんですか。  
天道 星じゃないんだって。  
星 え？  
天道 トンネルなんだって。  
星 でもなんであんな色なんだろう。  
天道 防犯上の理由らしいよ。トンネルで、シャブ中がシャブ  
星 打ったり、シャブの取引したりするらしいんだよな。青  
天道 い光の中だと、シャブ打ちたくなくなるのかね。  
星 青い光の中だと、静脈を探せない。  
天道 シャブ中だったんですか。  
星 一応医者なんです。静脈注射の経験はあります。  
天道 シャブ中には意地悪な光だね。でも遠くから見ると、  
星 星みたいに見えるよなあ。  
天道 そうですねー。ああ残念  
星 なにが  
天道 夜になると、紅茶飲みながら、ここで見てたんです。  
星 星空だけはきれいですからね。あの青い光は、特に美し  
天道 いと思ってる。あの光にみとれ、励まされる気持ちになっ  
星 てた。おれにとつてのこの世界をあの光は美しくしてい  
天道 た。でも、そんなダメな理由で青い、ダメライトだった  
星 なんて。

天道

じゃあ、今のおれの話は忘れて、おおいぬ座の一等星  
だったと思えばいいじゃん。

そうもいきませんよ。

光は光さ。

光は光ですかね。

聞じゃない。

そうですね。たしかに、聞じゃない。

50年後、100年後、150年後

なんです。

いや、それぐらい後の人類もさ、こうやって星座を見  
てると思うんだよね。でさ、彼らはおれたちと距離があ  
るじゃない？だからいろいろひでえことや、情けねえこ  
とは忘れられて、この大変な時代を乗り越えたってこと  
だけが残って。立派だよ、あの時代があるから今があ  
るんだよ、頑張ったよね、あいつら星だよ、ねって、思  
つてくれるんじゃね？どう？こういう考え方。

(間) よいではないか。

だよー。

あ。

どうしたの。

いま、光りました。

え？

1匹、飛んできますよ。

マジか？

3日くらいで死ぬって言ってたのに。

しぶといやつがいるねえ。

遠くから飛んできたのかも。

新キャラってこと？

ジュア、陽が登場。

陽  
ジュア

アキラさん、アキラさん。  
どうしました。

ジュア

飛んでいる。

何がですか

フライアフライ！

え？

ホタル。1匹だけ、飛んでいる。

まさか。

生きていた。まだ。

そんなことあるんだ。

私の間違いではありませんね。

大丈夫。僕にも見えます。

なにをしようとしてるんだろう。

メスに見つけてもらって、濃厚接触。  
見つけてやれよ。

月世、登場。ホタルに気づく。

星 前より光が弱いよ。

陽 消えそうですね。

天道 青息吐息、虫の息ってどこかな。

ジュア 消えないで。

星 消えた。

天道 光れー。

星 光れ。

ジュア FLY FIREFLY LIGHT NOW。

陽 光れー。

ホタルが弱いながらもまた、光を放ち始めたことが、全員の表情  
でわかる。

月世 頑張れ。

幕。

参考文献

ホタル学 (東京ゲンジボタル研究所) 丸善出版  
ホタルと人と文化 (おかやま環境ネットワーク)  
大学教育出版

第70期王将戦第1局(2021年1月)の棋譜を参考にしました。